

5 自己管理を徹底するための取組（チェックリスト）

飲酒運転を防止するためには、飲酒（アルコール）についての正しい知識を持ち、飲酒運転が社会的に許容されない行為であることを日々認識しておく必要があります。

飲酒運転を防止するためには、次のチェックリストを活用して、自己管理、職場管理に努めましょう。特に、お盆や年末年始など飲酒の機会が増える時期には、チェックを徹底してください。

《教職員用》

yes	no	項 目
		○ 飲酒運転に対する罰則や処分の内容について説明できる
		○ ビール中瓶1本（500ml）を飲んだ場合、アルコールが完全に抜けるまで4時間程度かかることを知っている
		○ 運転者以外にも車両提供者や同乗者も処罰されることを知っている
		○ 自転車も飲酒運転は禁止されており、罰則規定があることを知っている
		○ 飲酒量の多少にかかわらず、たとえ微量であっても「飲んだら乗るな、乗るなら飲むな」の心構えを持ち、徹底している
		○ 少しくらいの飲酒なら大丈夫という甘い認識はない
		○ アルコールが抜けていないのに、「自分はもう酔っていない、大丈夫」という根拠のない判断をしていない
		○ 「決意と行動」に基づく「飲酒運転根絶カード」は、常に携帯していなければならないし、実際に携帯している
		○ 少しの飲酒でも、注意力や反応速度に影響があることを知っている
		○ 飲酒運転はとっさの判断力の低下、視力の低下、正確な動作がとれなくなる、遠近感が鈍くなる、速度を出しすぎる、運転がうまくなったように錯覚する、追突事故を起こしやすい等の危険があることを知っている
		○ アルコールは、体質や飲酒量によって8時間以上経過しても抜けきらない場合もあることを知っている
		○ 飲酒する場所にバイクや車で行かないことにしている
		○ 飲酒の影響は、長時間に及ぶことを知っている
		○ 深夜まで飲んだ時は、翌日、運転しないようにしている
		○ 二日酔いで出勤したことがある
		○ 酒臭いまま車を運転して出勤する同僚に反感を覚える
		○ 車を運転する者に酒を勧めること、飲酒運転と知って同乗することも自ら運転を行うことと同様に許されないことを知っている
		○ 飲んで運転する同僚に「乗るな」と言える
		○ 同僚が車で酒席に来ていた場合は、車の鍵を預かることにしている
		○ 同僚が車で酒席に来ていた場合は、運転代行の車に乗るまで、又はホテルにチェックインするまで見届けて確認している
		○ 運転代行を利用しさえすれば、飲酒の場に車で行くことは何ら問題ない
		○ アルコール依存の傾向はない
		○ 飲酒運転について家族と話し合ったことがある

《管理職員用》

yes	no	項 目
		○ 定期的に飲酒運転防止の注意喚起をしている
		○ 目につきやすい場所に飲酒運転防止に係る啓発の掲示をしている
		○ 飲酒運転の根絶に係る教育委員会の通知や懲戒処分の指針を所属職員に周知している
		○ アルコールの作用や害について、正しい知識の周知に努めている
		○ 部下職員の健康管理（飲酒傾向）に気を配っている
		○ 二日酔いで出勤してくる職員を把握している
		○ 朝、酒臭い息をしている職員を把握している
		○ 休み明けや飲み会の翌日に休むことが多い職員を把握している
		○ 飲酒について注意すると、言い訳をしたり、無言になる職員を把握している
		○ 「酒飲み」「酒に強い」「酒好き」「酒癖が悪い」等の評判が定着している職員を把握している
		○ 飲酒運転の罰則や厳しい処分について職員に周知している
		○ 事故や違反があった場合の報告義務について、職員に徹底している
		○ 職場の歓送迎会・親睦会など飲酒を伴う会合の企画を行う際には、事前に飲酒運転の禁止を徹底している
		○ 職場の飲み会の日には車で出勤しないよう、事前に職員に周知している
		○ 職場での飲み会の際は、事前に帰宅方法を確認している
		○ 職場での飲み会の際、職員から申し出があった場合は、車の鍵を預かり保管している
		○ 飲酒を伴う会合を実施する時には、事前事後に飲酒運転は絶対にしないことを指導し確認している
		○ 職場の飲み会では、最初の乾杯時から、ソフトドリンクをテーブルに置くようにしている
		○ 職場の飲み会では、最初の乾杯時から、飲酒運転防止の注意喚起をしている
		○ 職場の飲み会では、飲まない人や飲めない人に無理に飲酒を強要することがないように、注意喚起をしている
		○ 飲酒運転の反社会性について、被害者やその関係者の立場を考え、日頃から研修会を実施するなどして意識の定着を図っている
		○ 普段から、教職員同士が飲酒量の多少にかかわらず、飲酒運転を相互に戒め合う職場の雰囲気づくりをしている
		○ 飲酒運転に係る不祥事事案の新聞記事等を切り抜いて、職員朝会の時などに職員に知らせ、注意喚起をしている
		○ 飲酒運転の防止のための具体的な方策を職員間で話し合い、講じている